

特定非営利活動法人
持続可能な開発のための教育の10年推進会議
2015年度 通常総会 議事録

開催日時：2015年6月20日（土）15：30－17：30

開催場所：みくに出版セミナールーム

特定非営利活動法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議
2015年度 通常総会 議事録

- 開催日時 2015年6月20日(土) 15:30-17:30
- 開催場所 みくに出版セミナールーム
- 社員総数 164名
- 出席した社員 109名 (内訳: 本人出席 29名、委任状出席: 80名)
- 議案
 - 第1号議案 2014年度事業報告
 - 第2号議案 2014年度決算報告
 - 第3号議案 定款の変更について
 - 第4号議案 役員選出規定の変更について
 - 第5号議案 2015年度事業計画
 - 第6号議案 2015年度予算

【説明資料】2015年度後期以降のESD-Jのあり方について

■定数の確認、開会宣言

定刻に至り事務局・村上千里より、定足数を確認し、本人出席 29名、委任状 80名、合計 109名で、正会員数(総会議決権者数)164名の過半数(82名以上)であることから、総会の成立を確認し、総会の開会を宣言した。

■代表理事あいさつ

阿部治代表理事から、「ESD-Jが提案してきた『ESD支援センター(仮称)』の具体化に向け今後がかかわっていく必要がある。その役割を担うESD-Jの継続をご提案させていただきたい」とあいさつが行われた。

■議長および議事録署名人の選出

事務局より、議長の選任方法を諮ったところ、満場一致を持って池田満之氏が議長に選任され、続いて議長からあいさつの後、議事録署名人として、重政子氏と森良氏が推薦され、満場一致を持って両名が選出されたにのち、審議に入った。

■審議の経過の概要及び議決の結果

1号議案: 2014年度事業報告

事務局から、2014年度の事業概要について報告し、各事業担当理事から、それぞれの事業について報告を行ったところ、以下のような質疑応答を経て、満場一致を持って異議なく可決決定した。

<参加者からの意見、質疑応答>

- * テキストブックの発行状況とそれぞれの在庫について質問があり、事務局より以下の通り報告をした。

テキストブック 1 完売、web上でPDFを無償公開

テキストブック 2 231冊 今後、書店販売に以降予定

テキストブック 3 334冊 書店販売で展開中

未来をつくるBOOK ESD-Jでの在庫は0。書店販売で展開中

会員から、教育委員会等の研修で活用している旨の報告があり、他の地域での活用を呼び掛けた。

- * 2014年に作成・公開された『提言』実現に向けて、これまで具体的にどのようなアクションを起こしているのかとの質問があり、世界会議併催イベントなどでの提言発信と意見交換、賛同者集め、ESD議員連盟への働きかけや、政党の勉強会での提言などを行った旨回答した。

また、今年度に入ってから、「ESD世界会議からセカンドステージへー 公開ワークショップ」を開催し、提言実現へ向けた議論を行った旨報告した。

- * ジェンダー平等、島しょ国の問題について ESD-J も力を入れてほしい、という要望があった。
- * SDGsが今年9月に確定する予定だが、これに関して ESD-Jはどのような活動を行っているのか、という質問があり、SDGsの中にESDやGAPをきちんと位置付けること、SDGプロセスへの若者の参加を促進すること等を、NGOネットワークと外務省との定期懇談会を通して働きかけている旨回答した。

2号議案：2014年度決算報告

事務局から、2014年度の決算報告について報告し、監事の浅見哲氏から、監事・吉岡睦子氏と共に会計監査および業務監査を行い、適正に会計及び業務が行われたことを確認した旨、報告を行ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定した。

3号議案 定款の変更について

(名称)

議長より定款案を配布し、この法人の名称変更について諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定した。

旧：第1条 この法人は、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議という。

2 英語名を Japan Council on the UN Decade of Education for Sustainable Development とする。

新：第1条 この法人は、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議という。

2 英語名を Japan Council on Education for Sustainable Development とする。

(目的)

議長より定款案を配布し、この法人の目的の変更について諮ったところ、会員から訂正の提案があり、これを採用する形で修正文案を作成、修正文案が満場一致を持って異議なく可決決定された。

旧：第3条 この法人は、「国連持続可能な開発のための教育10年」（2005年～2014年、以下「ESDの10年」と称す）を契機に、日本国内の環境・開発・人権・平和・ジェンダー・多文化共生・保健など、社会的な課題に関する教育にかかわる市民（NGO・NPO・個人）の動きをつなぎ、国内および国外における持続可能な開発のための教育（ESD）のあり方についての共通理解を図り、課題を検討する。そしてそれらをもとに政府、地方自治体、企業、教育関連機関等に対して、市民が対等な立場で政策提言および協働・連携による活動を行うことにより、市民の参画を基礎とした持続可能な社会の実現に向けた教育の推進に寄与することを目的とする。

新：第3条 この法人は、「国連持続可能な開発のための教育10年」（2005年～2014年、以下「ESDの10年」と称す）を継承し、日本国内の環境・開発・人権・平和・ジェンダー・多文化共生・保健など、社会的な課題に関する教育にかかわる市民（NGO・NPO・個人）の動きをつなぎ、国内および国外における持続可能な開発のための教育（ESD）のあり方についての共通理解を図り、課題を検討する。そしてそれらをもとに政府、地方自治体、企業、教育関連機関等に対して、市民が対等な立場で政策提言および協働・連携による活動を行うことにより、市民の参画を基礎とした持続可能な社会の実現に向けた教育の推進に寄与することを目的とする。

(役員等 種別及び定数)

議長より定款案を配布し、この法人の理事の定数変更について諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定した。

旧：第13条 (1) 理事 12人以上20人以内

新：第13条 (1) 理事 5人以上20人以内

4号議案 役員選出規定の変更について

議長は、この法人の役員選出規定を議案の通り変更したい旨理事会から付議されたので、これを議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定した。

5号議案 2015年度事業計画

事務局から、2015年度の事業計画について説明し、以下のような質疑応答を経て、満場一致を持って異議なく可決決定した。

<参加者からの意見、質疑応答>

- * 活動展開にあたっては、地域が抱えている課題や状況をふまえ、人々に届く言葉づかいを意識することが必要、上から下ろす姿勢ではなく、地域との共感を常に忘れないようにすることの重要性が指摘された。
- * 地域おこし協力隊など、個人レベルで農山村の活動に取り組んでいる人たちも議論の中に入れていけるような仕組みづくりへの期待が表明された。
- * 国会で安全保障関連法案について議論されている中、ESD-Jとしてのスタンスを理事会で議論しておく必要性が指摘された。また、定款の目的にある「平和」は、現政権が使っている「積極的平和」と同意語か、との質問があり、ESD-J発足時から使用している「平和」という意味合いは変わっていない旨回答した。
- * 「地域および学校におけるESD推進」事業、「震災復興とESDをつなぐ」事業が2015年度計画に入っていない経緯についての質問を受け、前者は1の「ESD支援センター（仮称）」の中で提案していく、後者は2の評価事業を進めていく過程で必ず取り組むことになる旨、回答した。
- * 「評価」とは、内部評価なのか、外部評価なのか、との質問があり、この10年何ができて何ができなかったのか、その経緯や理由はどこにあるのか、まとめておくことは非常に大事なことだと考えており、それを総称して「評価」と言っている旨、また、内部評価も外部評価も含まれている旨、回答した。

6号議案 2015年度予算

事務局から、2015年度予算概要について説明し、満場一致を持って異議なく可決決定した。

■報告：

名執芳博理事より、今期で理事から退く旨、挨拶が行われた。

以上をもって社員総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し、午後5時30分に閉会した。上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に貴名押印する。

2015年6月25日

議長 池田 満之 印

議事録署名人 重 政子 印

議事録署名人 森 良 印